

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

芸術祭参加大船渡短歌会作品から

血縁と地縁

(朝露と今日の喜び)
孫の医院開業六年仙台へ子と共に発つ今日の喜び

近づけば花と思ひし草陰にはおすき赤く朝露にぬれ

橋爪 里美

3・11大震災から生活が立ち上がっていくイメージで作品に触れました。朝露に結んだ赤いほおずき、早朝の一番列車に乗って仙台に向かった大震災前の大船渡線、かわいい自慢の孫の開業6年目の祝い、湾口から昇ってくる太陽、今日の喜びですね！

(名は身のおかし)

「おかみさん」と夢で呼ばれてはっとせり岬の宿を閉じて久しく、

バレーボール・日本男女のフルネーム覚えてつ懸命に応援する

佐々木せい子

…のおかみさん、これは自分の宿の名前であり、分身ですね。

前の東京オリンピックの時に世界の強豪ソ連を破って優勝した鬼の大松監督率いる日本女子バレーチームの主将の葛西さんの名前ははつきり覚えております。

返句

名を呼んで、ちから合せて、ことをなす

(客船の出港)

行く先に船首を向ける豪華客船タグボートの手さぐりに見蕩れる

三発の汽笛合図に離れゆく船客の手に持つテープ切れ落つ

及川智香子

見送りと別れはいつもつらいものですね！紙テープに寄せた思いを切って豪華客船は離れて行きました。人生の別れのひとこまでですね！

夕日を浴びて出港する豪華客船のイメージから万葉集の額田王の歌が浮かんできました。

返句

あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る

(夜の華のブルース)

わが庭に久しぶりなる矢車草ふとくちづさむ青柳町こそ

公園の土手に咲きたる彼岸花華やかに花魁のごと

増田 邦夫

花は美しく咲きその蜜に虫はひきつけられます。夜の花は男どもをひきつけますね！老いてな野の花にその思いがわいてきます

ね！

返句

夜の華 ブルース流れ有楽町

(心づかい)

皇后さまのお傍で勤めし語り部の優しさあふれ誇らしげなり

足悪き吾に嫁が呉るるスリッパに左右がありて滑り止め付く

岩淵 綾子

嫁さんの温かい心遣いがつたわってきますね！心遣いと感謝の流れの中に人の和がうまれてきますね！

返句

嫁呉れた足止めスリッパ温かし

(胡瓜と納豆)

唇舐どき先生が食みぬし胡瓜一本戦時なりやこそむむじい思ひを

納豆をさほど好まぬ我なれど夫は朝な朝な一品となす

寺沢 泰子

敗戦直後の遠足に一本のサツマイモのお弁当を思い出します。納豆はごちそうでした！

返句

子や孫に 粗食の知恵と 生きがいを

(たのもしきもの)

津波にも千石和船は耐え抜きぬ建造秘話を棟梁に聴く

肩車されたる幼が「ゐるゐる」と盆踊りの輪の祖母を指し言ふ

田端百合子

千石船の棟梁、盆踊りの輪をリードする祖母、たのもしきものですね！

返句

荒波に 耐えて人の輪老の知恵

(リハビリデイサービス)

満ち満ちてデイサービースにゆく私生きる力のコマが廻り来る

車椅子の老女の背なをさすりあるデイサービースのスタッフ(優し)

中村 光

リハビリデイサービースは心身のリハビリですね！心身両方のリハビリは生きる力がわいてきますね！

返句

心身の リハビリサービス 生き方

(東海新報記事から)

「災害時における相互応援に関する協定」の記事は10月25日の第1面には大船渡市と千葉県九十九里浜に面した山武市、26日の第1面には住田町と山梨県の丹波村との調印に

関することが記載されている。地縁や血縁、友人関係を通してのつながりの大切さが、国家レベルを超え、世界レベルで注目され始めている。25日の世迷言は反日政策を行っている国々からの日本への観光客が増加していること、26日の世迷言は大手ホテルの商品表示の偽装問題に触れている。長い地域の草の根の歴史と生活感情に基づいた見識の育成教育が政治や企業に踊らされてくる短期の目先の利益よりはるかに大切である」と述べている。以て肝に命ずべしであると思う。